

他部会への意見提示

他の専門部会への提案

No.	区分	提案先部会 (関係部局)	提案の概要	提案の趣旨など	関係する戦略・施策
【第1回専門部会で出た意見】					
1	②その他 (他部会へ 意見提示)	ふるさと定着回帰部 会 ↓ 産業振興部会 (産業労働部)	働きやすさを追求すれば起業も選択肢となるが、失敗しないように起業 者一人一人に寄り添った支援や、法務トラブルに対するリスクヘッ ジのための支援等、起業支援を充実するべきではないか。	・ 起業者の価値観はそれぞれ異なるため、画一的な支援ではな く、きめ細かい支援が必要となる。 ・ 個人事業主やフリーランスといった起業の場合、法務トラブル への対応がないがしろになるケースが多い。 ・ 既存企業が、社内ベンチャー事業を起業により実施する人を募 集するという形があってもいいのではないか。この場合、メン ターがいる環境で起業でき、経営者となるため自由な働き方が できる。	【戦略1】産業・雇用 (目指す姿) 産業構造の変化に対応した 県内産業の競争力強化 (方向性) 産業人材の確保・育成
2	②その他 (他部会へ 意見提示)	農林水産部会 ↓ 産業振興部会 (産業 労働部)	コメの産地である本県にライスプラスチックの工場があれば、SDG sや脱炭素の観点からも強みになると思う。	・ ライスプラスチックという素材が出てきており、新潟県で先駆 的に取り組まれているようである。 ・ 石油の輸入を減らすことができるものであり、SDG sや脱炭 素の観点からも有望である。 ・ 本県はコメの主産県であり、原料が豊富にあることから、こ うした製品の製造を手がける企業を誘致し、工場が県内にでき れば強みになる。	【戦略6】産業・雇用 (目指す姿) 産業振興を支える投資の拡大 (方向性) 企業立地等の促進
3	②その他 (他部会へ 意見提示)	人・もの交流拡大部 会 ↓ ふるさと定着回帰部 会 (あきた未来創造 部)	コロナ禍を契機とした地方回帰の流れで、伝統行事に触れたい、工芸 品づくりの担い手になりたいといった需要も多いはずである。こうし たニーズをうまく取り込んで移住につなげていくべきである。	・ 観光が入り口となって興味を持つケースもあると思われるが、 移住の促進や関係人口の拡大を進めるにあたっては、祭りや伝 統行事への参加、工芸品の制作などに携わることで地元との結 び付きが強まり、生き生きと暮らしている事例を紹介するな ど、地方志向のニーズに着目した情報発信が効果的ではない か。	【戦略4】未来創造・地域社会 (目指す姿) 新たな人の流れの創出 (方向性) 首都圏等からの移住促進 人材誘致の推進と関係人口の 拡大
4	②その他 (他部会へ 意見提示)	健康長寿・地域共生 部会 ↓ ふるさと定着回帰部 会 (あきた未来創造 部)	少子化が進んでいるが、産めない原因がどこにあるのかについて調べ てみてはどうか。また、望まない妊娠をしても産み育てられる環境を 作っていくべきではないか。	・ 少子化が進んでいる要因の一つとして、妊娠しても産めない状 況があると考えられるが、その原因を把握する必要があるの ではないか。 ・ 薬局では、国から緊急避妊薬を売る準備を進めておくように求 められているが、個人的に緊急避妊薬の販売に疑問を持っている。 る。 ・ 仮に望まない妊娠をしても、産み育てられるようになれば、墮 胎を選択する人が少しでも減り、少子化の改善につながるの ではないか。	【戦略4】未来創造・地域社会 (目指す姿) 結婚・出産・子育ての希望が かなう社会の実現 (方向性) 安心して出産できる環境づくり

5	②その他 (他部会へ 意見提示)	ふるさと定着回帰部 会 ↓ 未来を拓く人づくり 部会 (教育庁)	子どもの教育に多様性を認め、学校に行けない子どもたちに対する教育に支援をすればいいのではないか。	・ 学校に行けない子どもが生き生きする場を作る必要がある。 ・ 子どもの多様性、子どもの教育の多様性を認める必要があるのではないか。 ・ ホームスクーリングやフリースクール等の教育に対して支援をすればいいのではないか。	【戦略6】教育・人づくり (目指す姿) 豊かな心と健やかな体の育成 (方向性) 規範意識と自他を尊重する心を 育む教育の推進 (目指す姿) 確かな学力の育成 (方向性) 新たな時代に対応した「秋田の 探究型授業」の推進
6	②その他 (他部会へ 意見提示)	農林水産部会 ↓ 未来を拓く人づくり 部会 (教育庁)	秋田ライフスタイルというものをブランド化し、家庭や教育現場などで、幼少から意識付けをしてから社会に出ていくことが大事なのではないか。	・ 秋田ライフスタイルというものをブランド化して、農林水産業を秋田県のブランドとしてきちっと消費者に伝えることが必要である。 ・ そのためには、秋田ならではのライフスタイルを幼少期から意識付けしていくことが必要である。	【戦略6】教育・人づくり (目指す姿) 秋田の将来を支える高い志に あふれる人材の育成 (方向性) 地域に根ざしたキャリア教育の 推進
7	②その他 (他部会へ 意見提示)	ふるさと定着回帰部 会 ↓ なし (基本政策2)	カーボンニュートラルを産業として促進する一方で、景観や自然環境の保護のために規制する施策も併せて考える必要があるのではないか。	・ 山や海にソーラーパネルや風力発電が次々に設置されている。 ・ 再生可能エネルギーを促進する必要性もわかるが、景観や自然環境といった秋田のよさを守っていく必要がある。	【基本政策2】環境保全 (目指す姿) 豊かな自然の保全と野生鳥獣 との共生

【第2回専門部会で出た意見】

8	②その他 (他部会へ 意見提示)	ふるさと定着回帰部 会 ↓ 産業振興部会 (産業労働部)	カーボンニュートラルに取り組まない中小企業は、大企業との取引を切られるといった死活問題につながることが考えられるため、中小企業がカーボンニュートラルに対応するための施策が必要なのではないか。	- カーボンニュートラルに取り組まない大企業には投資されず、お金が集まらなくなってくる。 - 大企業は、取引する中小企業にもカーボンニュートラルへの取組を求めることになり、取り組んでいない中小企業が取引を切られる死活問題となる。 - 新プランでは、カーボンニュートラルへの挑戦をチャンスととらえているように見えるが、守りの施策も必要ではないか。 - 中小企業に対して、カーボンニュートラルへの取組の啓蒙や、取組への支援をするべきではないか。	【戦略1】産業・雇用 (目指す姿) 産業構造の変化に対応した 県内産業の競争力強化 (方向性) 地域経済を牽引する県内企業 の育成
9	②その他 (他部会へ 意見提示)	ふるさと定着回帰部 会 ↓ 産業振興部会 (産業労働部)	県内定着の観点からは、大学生による起業の支援も重要なのではないか。	- 本県の大学の学生は、卒業後に県外へ転出する人が多い。 - 大学生のうちに起業すれば、そのまま県内に定着することが考えられる。 - 大学生の起業を支援するべきではないか。	【戦略1】産業・雇用 (目指す姿) 産業構造の変化に対応した 県内産業の競争力強化 (方向性) 起業の促進と小規模企業の振興
10	②その他 (他部会へ 意見提示)	ふるさと定着回帰部 会 ↓ 産業振興部会 (産業労働部)	若者の力で町や地域を守るという観点や、伝統工芸を守るという観点から、事業承継を支援するべきではないか。	- 子どもに商売を継がせない人が増え、後継者不足もあり、県内はどこも市街地が衰退している。 - 事業承継を支援することにより、若い経営者が増えれば、地域が活性化し、町が守られる。 - 若い経営者が増えることで、影響された若者が起業するなど、若者が集まりやすくなる。 - このほか、メイドイン秋田を守るためにも、伝統工芸の事業承継の支援も重要である。	【戦略1】産業・雇用 (目指す姿) 産業構造の変化に対応した 県内産業の競争力強化 (方向性) 経営資源の融合と事業承継の 促進 (目指す姿) 歴史と風土に培われた地域 産業の活性化 (方向性) 伝統的工芸品等産業の振興
11	②その他 (他部会へ 意見提示)	健康長寿・地域共生 社会部会 ↓ 産業振興部会 (産業労働部)	子育て世帯が食生活の改善や口腔ケア等にも配慮できる時間を確保できるよう、秋田県内の企業における時差出勤等の取組を促進してほしい。	- 子育て世帯においては、朝は時間がないために、歯磨きを諦めたり、食事は子どもだけで親は食わずに出勤する家庭があると聞いている。 - このような状況では、食育の推進や食生活の改善は難しいのではないか。 - 秋田県内の企業が、例えば1時間遅い時差出勤等に取り組んでもらえると、子育て世帯の朝の時間帯に余裕ができ、食生活の見直し等につながるのではないか。	【戦略1】産業・雇用 (目指す姿) 産業構造の変化に対応した 県内産業の競争力の強化 (方向性) 産業人材の確保・育成

12	②その他 (他部会へ 意見提示)	人・もの交流拡大部 会 ↓ 農林水産部会 (農林水産部)	人口減少が進む日本に比べ、イスラム圏は人口が増えるといわれている。ハラール認証を取得し比内地鶏の輸出を検討すべき。	- 国内市場も小さくなるなか、イスラム市場は有望。ハラール認証をとるのもそれほど難しくない。工場に1人、ムスリムの人が良いといったレベルらしい。 - ブラジルはこれで成功しており、他県でもやっておらず、地鶏の消費を推す秋田で実施すべきでないか。	【戦略2】農林水産業 (目指す姿) 農業の食料供給力の強化 (方向性) 農産物のブランド化と 流通・販売体制の整備
13	②その他 (他部会へ 意見提示)	ふるさと定着回帰部 会 ↓ 農林水産部会 (農林水産部)	魅力ある里づくりの拡充や森林環境譲与税の活用等により、カーボンニュートラルにつながる民間レベルの活動を支援することはできないだろうか。	- 次世代のためにとの思いで、自然環境の保護や環境教育に取り組む経営者は多いので、支援することにより、カーボンニュートラルへの活動も広がるのではないか。 - 魅力ある里づくりを年間10件程度に拡大して、これをカーボンニュートラルにつながる民間の取組に活用できないだろうか。 - 森林環境譲与税の活用でも構わない。	【戦略2】農林水産業 (目指す姿) 林業・木材産業の成長産業化 (方向性) 森林の有する多面的機能の発揮 の促進
14	②その他 (他部会へ 意見提示)	農林水産部会 ↓ ふるさと定着回帰部 会(あきた未来創造 部)	一定のエリアを居住地域にするなど、行政サービスの提供エリアの線引きについて議論していく必要がある。	- 中山間地域の奥地では、50年後、100年後に人が住んでいるが疑問に思う。 - 水道などのインフラについては、既に提供できないエリアもあり、近い将来提供できないエリアが更に出てくるのではないか。 - 観光やレクリエーションの場所として維持していくのはいいとは思いますが、住み分けについて、どこかで議論していく必要がある。	【戦略4】未来創造・地域社会 (目指す姿) 変革する時代に対応した 地域社会の構築 (方向性) 地域住民が主体となった地域 コミュニティづくり、持続可能 でコンパクトなまちづくり ※線引きに関する発言ですが、厳格な法的 解釈ではなく、「コミュニティ生活圏」あ るいは「立地適正化計画・まちづくりワ ークショップ」といったような地域の将来像 を住民・行政が一体となって考える必要が あるという主旨で解釈してください。
15	②その他 (他部会へ 意見提示)	農林水産部会 ↓ ふるさと定着回帰部 会(あきた未来創造 部)	移住対策には、空き家対策を併せて実施するなど、居住環境の提供も行うべきである。	- 秋田県には移住者が少ないが、隣県には多いとの報道があった。 - 横手市だと、冬期間は雪の多さがネックとなってしまう。 - 空き家対策と併せて実施することで、人口減少が幾らかでもストップできるのではないか。	【戦略4】未来創造・地域社会 (目指す姿) 新たな人の流れの創出 (方向性) 首都圏等からの移住の促進
16	②その他 (他部会へ 意見提示)	産業振興部会 ↓ 健康長寿・地域共生 社会部会 (健康福祉部)	医療福祉分野は、日々の業務に追われてＩＯＴ技術の導入に関心が行き届いていないと考えるので、そうしたところにも届く支援が必要なのではないか。	- ＩＯＴ技術の導入・展開方法に関する、3期プランの検証中の意見 「ＩＯＴ技術の導入を促進に向けて、導入効果が高い分野に製造業や医療福祉部門などに集中的に展開する必要がある」、「製造業はＩＯＴ導入の意識が高いと思うが」、と前置きが あった上での意見	【戦略5】健康・医療・福祉 (目指す姿) 高齢者と障害者の暮らしを 支える体制の強化 (方向性) 介護・福祉人材の確保・育成と 労働環境の改善の促進

17	②その他 (他部会へ 意見提示)	健康長寿・地域共生 社会部会 ↓ ふるさと定着回帰部 会（あきた未来創造 部） 未来を拓く人づくり 部会（教育庁）	介護施設の訪問など、高齢者等との触れ合い活動についても、目に見える形で評価される仕組みづくりができないか。	・ 高校生等の学生が介護施設を訪問したり、若者が高齢者等と触れ合う機会が見られるようになった。 ・ しかし、そのような経験をして、例えば大学の入学時に加点されるなど、学生にとって目に見えるメリットはない。 ・ 高齢者等との触れ合い活動が学生の業績の一つと認められることで、こうした活動がさらに広まるのではないか。	【戦略6】教育・人づくり (目指す姿) 秋田の将来を支える高い志にあふれる人材の育成 (方向性) 地域に根ざしたキャリア教育の推進
18	②その他 (他部会へ 意見提示)	農林水産部会 ↓ なし（基本政策）	スマート農業の普及には、5G回線が必要不可欠である。	・ 現在活用しているほ場管理ソフトウェアでさえ、データのダウンロードには20分程度を要する。 ・ 無人の機械を遠隔操作するとなると、現在の回線容量では全く足りず、5G回線の整備が必要である。	【基本政策2】